事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月17日（月）

事務事業	市有建物営繕工事執行委任事務	担当課	建築住宅課	担当係	施設住宅係	管理番号	4115
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等	公共施設適正配置計画				
第2次総合計画 行政分野別 中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
第2次総合計画 行政分野別 小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	本事業は、市有建物の建設や不具合箇所の改修等について、各建物所管課より執行委任を受け、営繕工事（設計、工事及び監理）を行うものである。
目的 ※何のために	施設利用者に、利便性が高く安全・安心な建物を提供するため。
対象 ※誰・何を対象に	市有建物
手段 ※どのように	各建物所管課より委任を受け、専門知識を有する課が営繕工事を執行する。
成果 ※何を求めるか	営繕工事が適正かつ円滑に行われる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 執行委任	・ 施設の調査
・ 設計業務	・
・ 工事執行	・
・ 監理業務	・
・ 取扱説明実施	・
・ 担当課への引き渡し	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画	椋沢学童保育室建築工事 消防分署建設工事設計業務委託 等	花園消防署川本分署建設工事 深谷消防署藤沢分署建設工事 等	花園消防署川本分署建設工事 深谷消防署藤沢分署建設工事 等	深谷消防署豊里分署建設工事 深谷消防署岡部分署建設工事 等	中の家主屋構造補強・改修工事 福寿荘浴室等設備改修工事	中の家主屋構造補強・改修工事
事業費 予算（現額）	0	0	0	0	0	0
事業費 決算額	0	0	0	0	0	0
財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
財源内訳 県支出金	0	0	0	0	0	0
財源内訳 地方債	0	0	0	0	0	0
財源内訳 他特定財源	0	0	0	0	0	0
財源内訳 一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費 従事職員数（人）	1.85	2.40	3.12	2.42	1.57	1.57
人件費 人件費相当試算 ※1	14,627,950	18,676,800	25,287,600	19,718,160	12,773,520	12,773,520
人件費	0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）	14,627,950	18,676,800	25,287,600	19,718,160	12,773,520	12,773,520

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	営繕調査の実施件数	目標値	件							■
			実績値		17.00	9.00	10.00	13.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		毎年、調査件数が増減するために、目標を設定できない。							
		実績値による									
■	活動指標２	営繕執行件数	目標値	件							■
			実績値		15.00	25.00	23.00	25.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		毎年、営繕件数が増減するために、目標を設定できない。							
		実績値による									
■	成果指標１	工期内に完了した工事の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		93.00	92.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		営繕執行依頼を適正に対応する必要があるため、目標値を１００%に設定する。							
		工期内完了件数／営繕執行件数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 営繕調査件数、営繕執行件数は、施設所管課から依頼を受け件数が確定する。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 営繕執行依頼を受けた業務は全て、工期内に完成した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　施設住宅係長　大塚光晴

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	関係法令、基準との適法・適合性を随時確認するため、設計検討会を実施する。 業務発注にあたり、図面・積算誤り等人為的ミスを防ぐため、複数の担当者による内容確認を実施する。 計画に沿って業務を進めるため、進捗の確認・受注者への的確な指示・指導を行い、業務管理の徹底を図る。
達成状況 及び その効果	関係法令・基準との適法性・適合性を随時確認するため、設計検討会を２回実施した。 業務発注に際し「市場単価情報の確認」「設計内容の確認」「積算確認」を複数の職員で行うなど、チェック体制の強化に努めた。又、業者への的確な安全指示・指導を行うため、市の工事担当者に対し、フルハーネス特別教育を開催した。 営繕執行業務においては、定例会議などで詳細な工程管理を行い、余裕を持った工期で工事を完成させた。

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	市有建物営繕工事執行委任事務	担当課	建築住宅課	担当係	施設住宅係	管理番号	4115

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

施設利用者に利便性が高く安全・安心な市有建物を提供するには、適正かつ円滑な営繕執行体制が必要であるため、現状のまま継続し質の向上を図る。

評価者	建築住宅課長　中島武彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

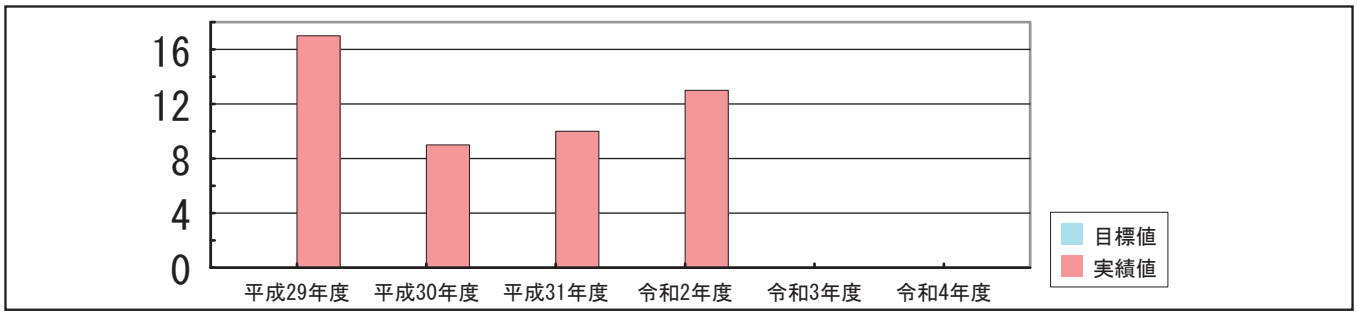
改善・改革案	関係法令、基準との適法・適合性を随時確認するため、設計検討会を実施する。 業務発注にあたり、図面・積算誤り等人為的ミスを防ぐため、複数の担当者による内容確認を実施する。 計画に沿って業務を進めるため、進捗の確認・受注者への的確な指示・指導を行い、業務管理の徹底を図る。

8．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

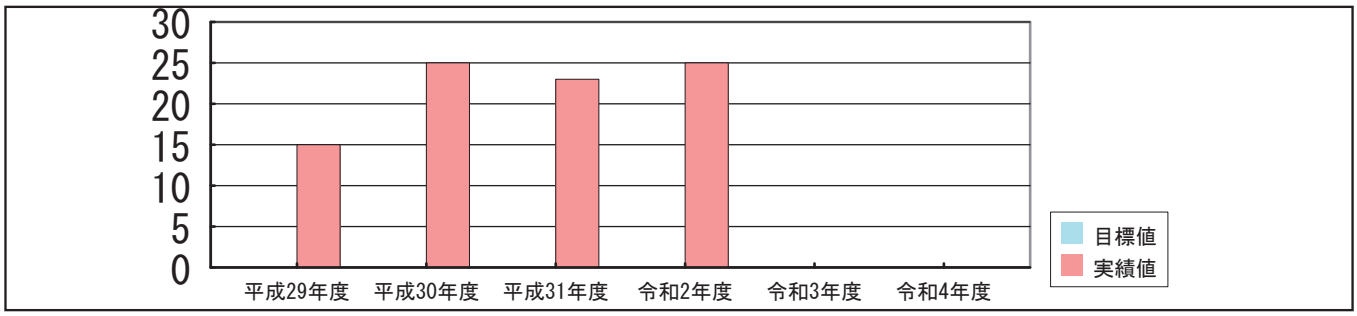
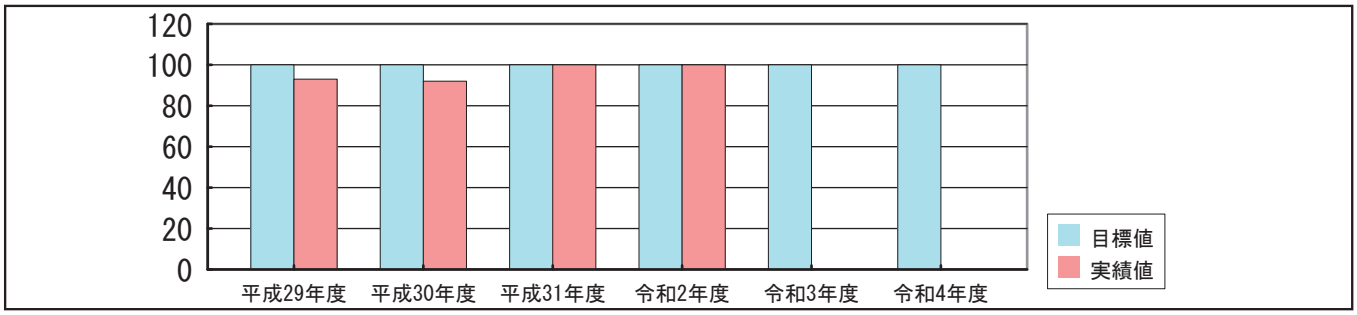
今後の課題	労働安全衛生法を踏まえ、工事を担当することになる職員については、フルハーネス特別教育の受講により安全教育を進めていく。

9．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	営繕調査の実施件数



区分	活動指標２	指標名	営繕執行件数



区分	成果指標１	指標名	工期内に完了した工事の割合